

牛山保育園が完成しました。



南側外観



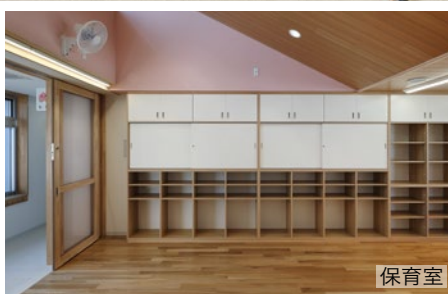
木造増築棟底下



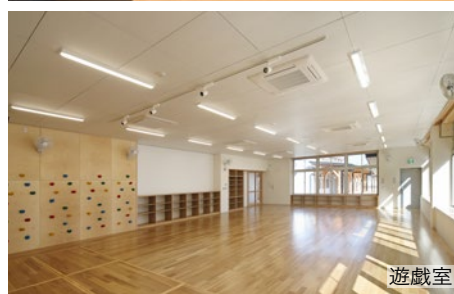
アプローチキャノピー



廊下



保育室



遊戯室

CONCEPT

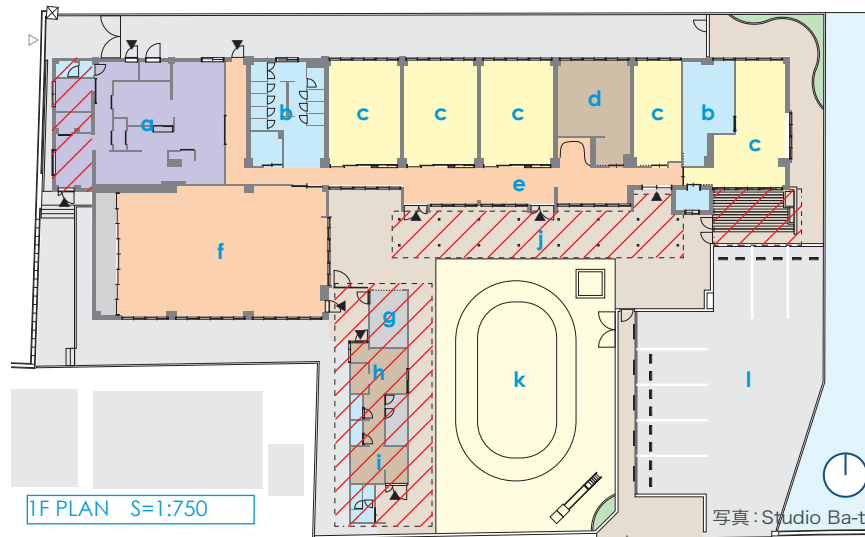
既存園舎の継承と新たな付加価値の創出

本計画は昭和44年に開園した牛山保育園の老朽化に対応するため、既存のRC造躯体を活かしながら、内装および設備機器を全面的に刷新する大規模改修に加え、保育運営上の不足していた相談室・職員休憩室・屋外倉庫の機能を備えた別棟と保育環境を拡張するキャノピーの増築計画です。既存園舎はハイサイドライトを活かし自然光と通風を取り入れるとともに、床・天井仕上げを木質化することで、木造で増築した別棟やキャノピーと呼応する温もりある環境を形成しています。また、廊下は、壁一面にホワイトボードを設け、保育の展開や子どもたちの表現の場として活用されるほか、アルコーブにより子どもたちのカームダウンスペースとしての役割も果たせる計画としています。

PLAN

- a.調理室 d.職員室 g.倉庫 j.アプローチキャノピー
- b.WC e.廊下 h.職員休憩室 k.園庭
- c.保育室 f.遊戯室 i.相談室 l.駐車場

▶ 出入口
/// 増築部



1F PLAN S=1:750

写真：Studio Ba-tsu

DATA

敷地面積	： 1,778.18㎡
建築面積	： 823.32㎡
延床面積	： 865.45㎡
建ぺい率	： 46.30%
容積率	： 47.89%
構造・規模	： RC、一部S造・地上2階 W造・地上1階（増築部）
最高高さ	： 7.21m(既存棟)/3.42m(増築棟)
軒高	： 6.46m(既存棟)/3.17m(増築棟)
階高	： 3.40m(既存棟)
天井高さ	： 2.40m(既存棟)
主なスパン	： 1.82m×2.73m(増築棟)
設計期間	： 2023.06～2024.01
工事期間	： 2024.05～2025.03

TOPICS

木架構の連続体による新たな園のファサードの形成

木造増築棟は、職員休憩室や相談室など職員や保護者のための機能を担いつつ、園庭側に深い庇を張り出すことで、子どもたちのための半屋外空間を創出しています。また、園舎正面に木造のアプローチキャノピーを新設し、木造増築棟の庇とL型に連続させ、中間領域を形成しています。この園庭と内部空間をゆるやかにつなぐ木架構の連続体が、日射制御や雨天時の動線に配慮しているだけでなく、建物全体の印象を刷新し、新たな園のファサードを形成しています。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>